

歴史的景観の保全に関する検証事業

京都市歴史的景観の保全に関する検討会

第3回

資料3 山麓部にある歴史的資産とその周辺の調査結果

資料3-1	金閣寺，等持院エリア	1
(1)	航空写真	1
(2)	美観地区・風致地区等の指定状況，写真撮影位置図	2
(3)	金閣寺とその周辺の状況	3
(4)	金閣寺周辺の地形図，航空写真の変遷	7
(5)	金閣寺周辺の景観形成の方針	9
資料3-2	勧修寺（かじゅうじ）エリア	10
(1)	航空写真	10
(2)	美観地区・風致地区等の指定状況，写真撮影位置図	11
(3)	勧修寺とその周辺の状況	12
(4)	勧修寺周辺の地形図，航空写真の変遷	15
(5)	勧修寺周辺の景観形成の方針	17
資料3-3	三千院，寂光院エリア	18
(1)	航空写真（①三千院周辺）	18
(2)	美観地区・風致地区等の指定状況，写真撮影位置図（①三千院周辺）	19
(3)	航空写真（②寂光院周辺）	20
(4)	美観地区・風致地区等の指定状況，写真撮影位置図（②寂光院周辺）	21
(5)	三千院，寂光院とその周辺の状況	22
(6)	三千院，寂光院周辺の航空写真の変遷	26
(7)	三千院，寂光院周辺の景観形成の方針	27

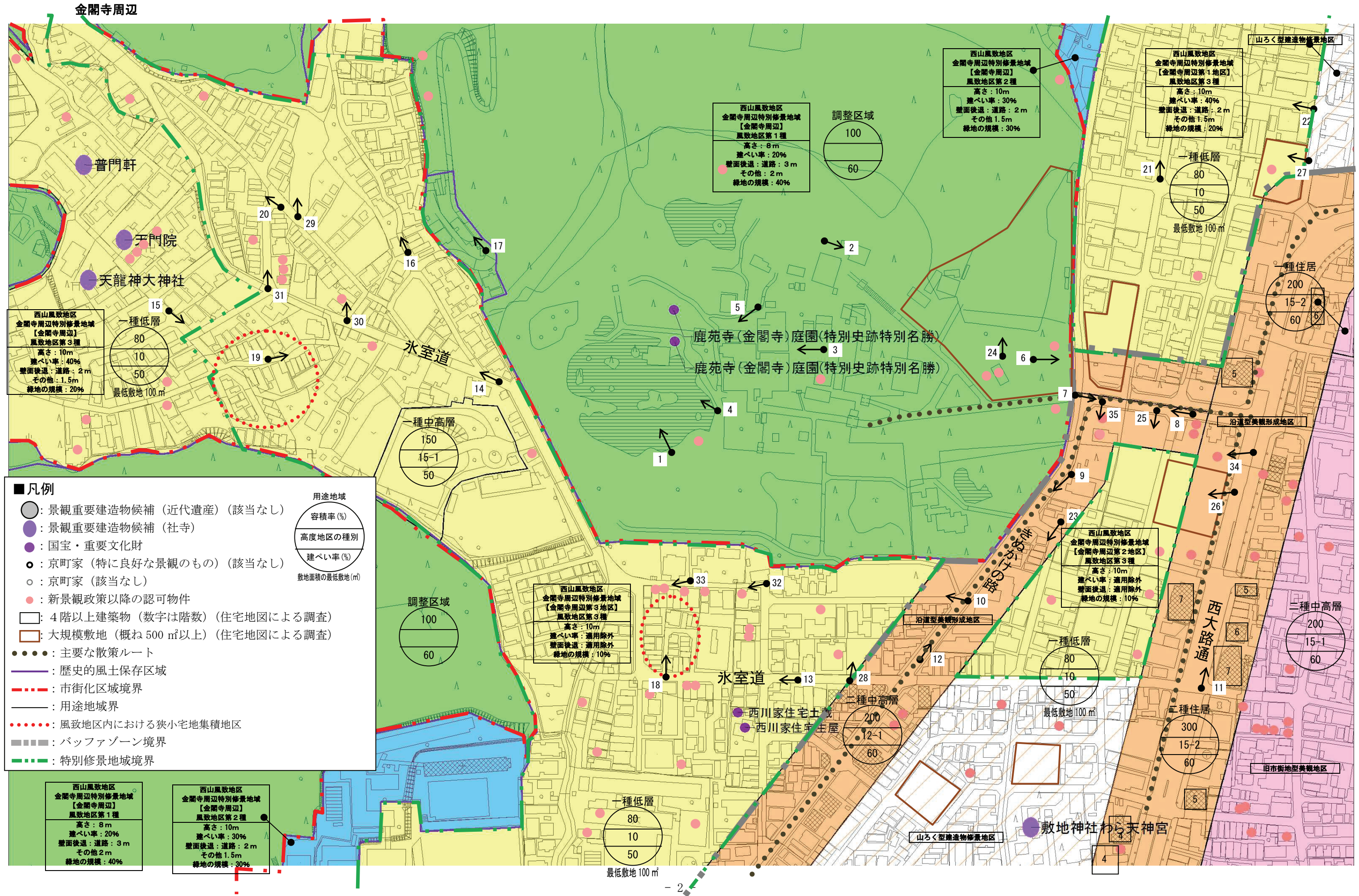
資料3-1 金閣寺，等持院エリア

(1) 航空写真

金閣寺周辺



(2) 美観地区・風致地区等の指定状況、写真撮影位置図



(3) 金閣寺とその周辺の状況

■金閣寺敷地内からの眺望

- ・金閣寺は、北及び西の方面の山々を借景しています。(写真1)
- ・また、西側は金閣寺直近まで市街化が進んでおり、敷地外周部の樹木の間から西側の敷地外の建築物が見えています。(写真4)
- ・境内からは西大路通沿道の建築物は見えません。



写真1 金閣寺庭園からの眺望

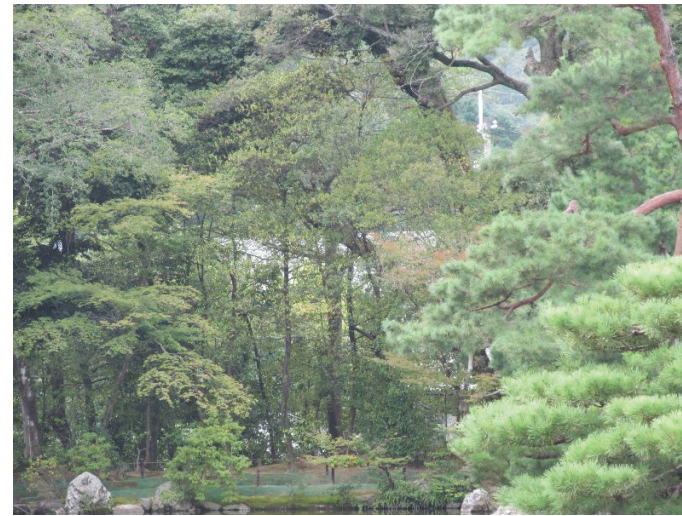


写真4 敷地外の建築物が垣間見える

■最近の建築物

- ・新景観政策（平成19年）以降建てられた建築物は、風致地区、美観形成地区それぞれの基準により景観の誘導がされています。(写真30, 33, 34, 35)
- ・風致地区内の住宅であっても、敷地形状などの事情により緑地を前面道路側に設けることができていない場合があります。(写真30)



写真30 最近建築された住宅（風致地区）



写真33 最近建築された住宅（風致地区）



写真34 西大路通沿いの郵便局(沿道型美観形成地区)



写真35 門前の飲食店（沿道型美観形成地区）

■風致地区の町並み

- ・金閣寺周辺は以前から風致地区を導入し景観規制を行ってきた区域（写真 15、17）と、平成 19 年の新景観政策により、風致地区を導入した区域（写真 18、19）があります。
- ・平成 19 年の風致地区の区域拡大の際、敷地面積 100 ㎡以下の宅地が集積する街区も含んで指定しています。（写真 18、19）これらの敷地では、建築物の更新に際して、一定の条件を満たせば、建ぺい率や壁面後退が適用除外となります。



写真 15 平成 19 年以前からの風致地区



写真 17 平成 19 年以前からの風致地区

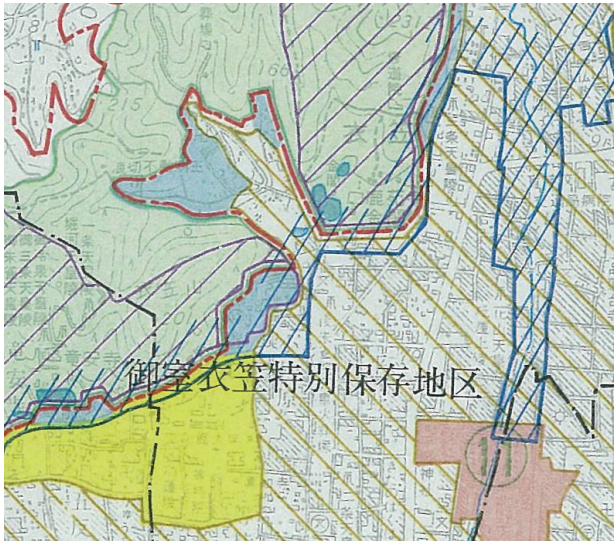


写真 18 平成 19 年以降の風致地区



写真 19 平成 19 年以降の風致地区

平成 6 年以前の景観規制の状況



都市計画総括図－3（景観保全）凡例

美観地区等の種別

- 美観地区第1種地域
- 工作物規制区域第1種区域
- 美観地区第2種地域
- 工作物規制区域第2種区域
- 巨大工作物規制区域

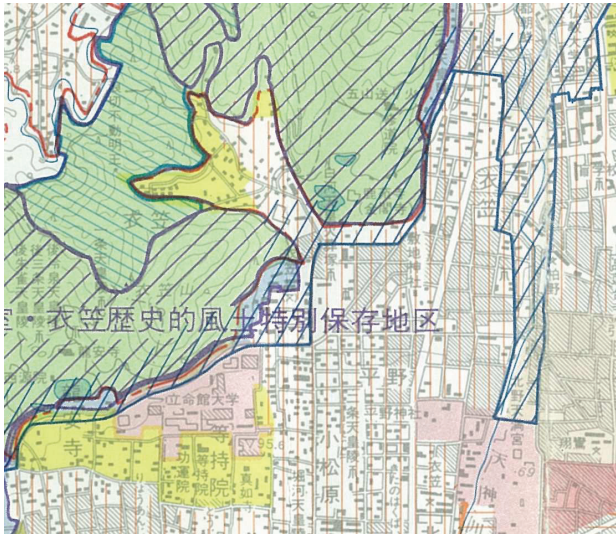
風致地区の種別

- 第1種地域
- 第2種地域
- 第3種地域
- 附則第2項地域

保存区域等

- 伝統的建造物群保存地区
- 歴史的風土特別保存地区
- 特別保全修景地区
- 歴史的風土保存区域
- 宅地造成工事規制区域
- 緑地保全地区
- 市街化区域・市街化調整区域界
- 近郊緑地保全区域
- 都市計画区域界

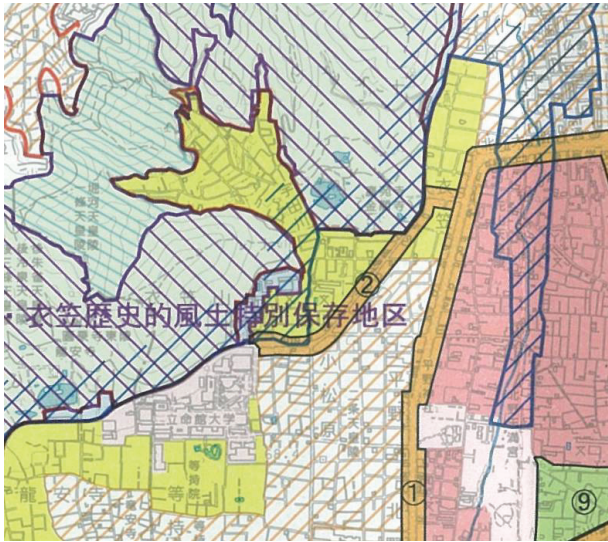
平成 6 年～平成 18 年の景観規制の状況



都市計画総括図-4(景観保全) 凡例

美観地区第1種地域	第1種建造物修景地区
美観地区第2種地域	第2種建造物修景地区
美観地区第3種地域	伝統的建造物群保存地区
美観地区第4種地域	歴史的風土特別保存地区
美観地区第5種地域	歴史的風土保存区域
沿道景観形成地区	緑地保全地区(近郊緑地特別保全地区を含む)
風致地区第1種地域	近郊緑地保全区域
風致地区第2種地域	第1種自然風景保全地区
風致地区第3種地域	第2種自然風景保全地区
風致地区第4種地域	市街化区域界
風致地区第5種地域	都市計画区域界
宅地造成工事規制区域	

平成 19 年以降の景観規制の状況



都市計画総括図－4（景観保全）凡例

山ろく型美観地区	山ろく型建造物修景地区
山並み背景型美観地区	山並み背景型建造物修景地区
岸辺型美観地区	岸辺型建造物修景地区
旧市街地型美観地区	町並み型建造物修景地区
歴史遺産型美観地区	伝統的建造物群保存地区
沿道型美観地区	歴史的風土保存区域
市街地型美観形成地区	歴史的風土特別保存地区
沿道型美観形成地区	近郊緑地保全区域
沿道景観形成地区	特別緑地保全地区(近郊緑地特別保全地区を含む)
風致地区第1種地域	第1種自然風景保全地区
風致地区第2種地域	第2種自然風景保全地区
風致地区第3種地域	宅地造成工事規制区域
風致地区第4種地域	市街化区域界
風致地区第5種地域	都市計画区域界

■駐車場

- ・多くの観光客が訪れることから、観光バス、タクシー、自家用車向けの駐車場が整備されています。



写真 24 観光バス駐車場（金閣寺所有地）



写真 25 タクシー駐車場



写真 26 時間貸し駐車場

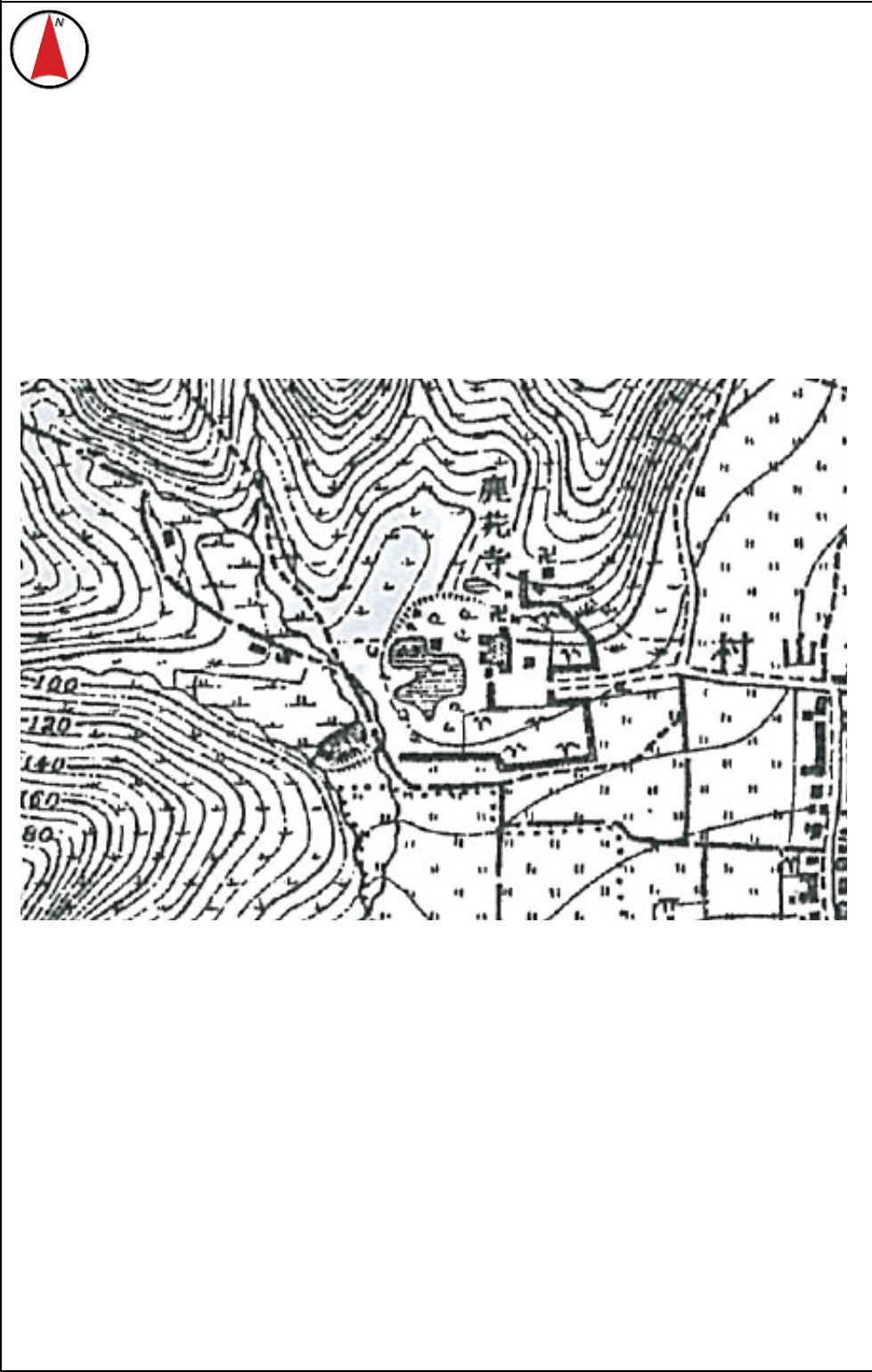
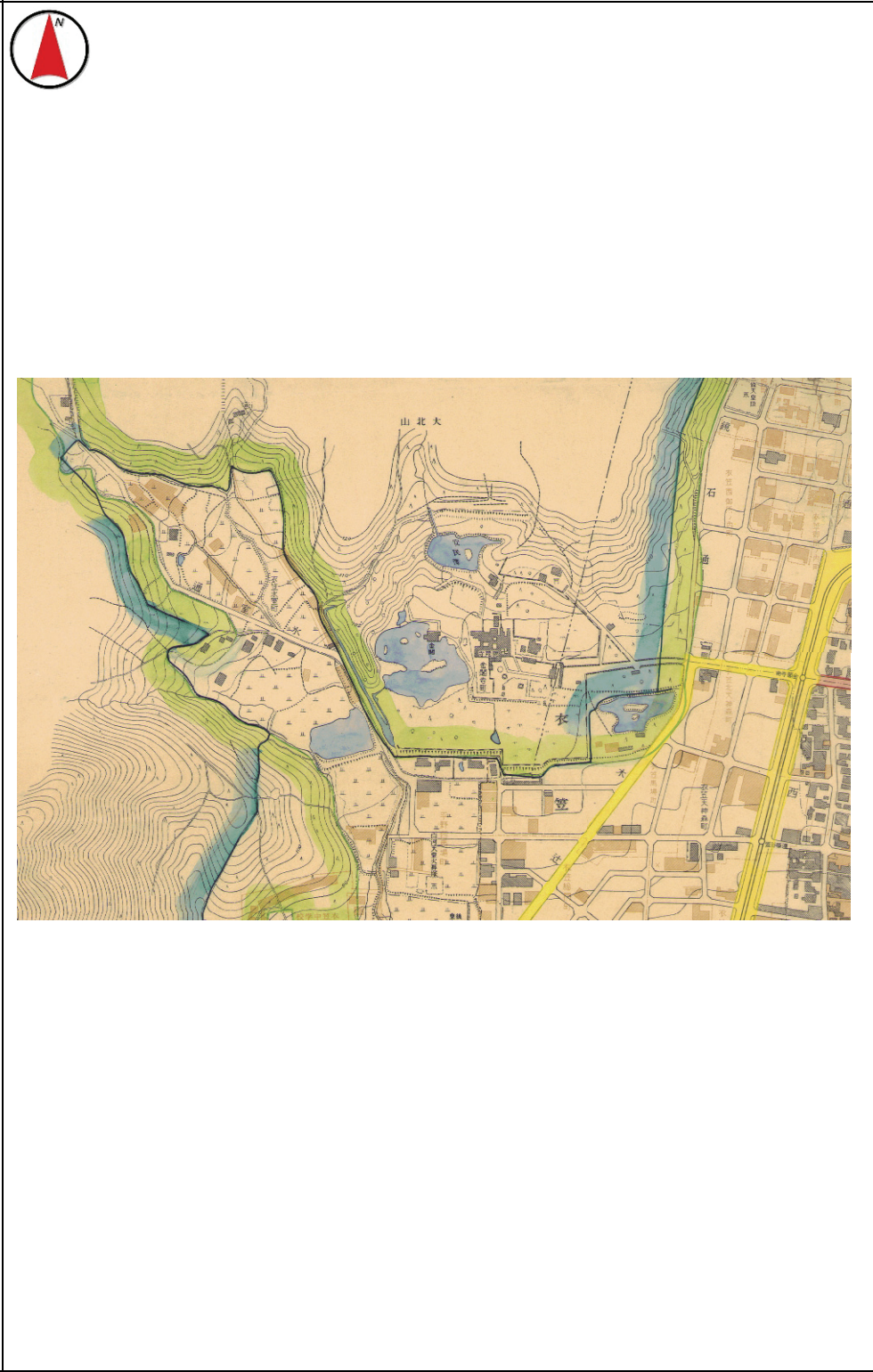


写真 27 月極駐車場

歴史的景観資産の状況(金閣寺)		金閣寺(庭園)からの眺望			金閣寺(駐車場)からの眺望	金閣寺(出入り口)からの眺望
写真 1	写真 2	写真 3	写真 4	写真 5	写真 6	写真 7
周辺(参道)からの金閣寺の見え方	周辺(きぬかけの路)から金閣寺の見え方	周辺(南側住宅地)からの金閣寺の見え方	周辺の町並み(西大路通)	周辺の町並み(きぬかけの路)	周辺の町並み(氷室道)	
写真 8	写真 9	写真 10	写真 11	写真 12	写真 13	写真 14
周辺の町並み(平成 19 年以前の風致地区)			周辺の町並み(平成 19 年以降の風致地区)			
写真 15	写真 16	写真 17	写真 18	写真 19	写真 20	写真 21
周辺の町並み(平成 19 年以降の風致地区)	周辺の町並み(沿道型美観形成地区)	寺社の駐車場	景観の変容の可能性(駐車場)			景観の変容の可能性(改変中の土地)
写真 22	写真 23	写真 24	写真 25	写真 26	写真 27	写真 28
景観の変容の可能性(住宅開発)	最近の建築物(平成 19 年以降の風致地区)				最近の建築物(沿道型美観形成地区)	
写真 29	写真 30	写真 31	写真 32	写真 33	写真 34	写真 35

(4) 金閣寺周辺の地形図，航空写真の変遷

①地形図

明治 23 年地形図	昭和 27 年修正地図	平成 23 年版
 This is a black and white topographic map from 1890 (Meiji 23). It features contour lines indicating elevation, with labels for 100, 120, 140, 160, and 180 meters. The map shows the Kinkaku-ji temple complex and the surrounding mountainous terrain. A north arrow is located in the top left corner.	 This is a color topographic map from 1952 (Shwa 27). It shows the same area as the Meiji map but with more detailed contour lines and color shading to represent different elevations. The Kinkaku-ji temple complex is clearly visible. A north arrow is located in the top left corner.	 This is an aerial photograph from 2011 (Heisei 23). It provides a modern view of the Kinkaku-ji temple complex and the surrounding area. The image shows the layout of the temple, the surrounding vegetation, and the urban environment. A north arrow is located in the top left corner.

②航空写真

昭和 21 年航空写真	昭和 46 年航空写真	平成 23 年航空写真
 	 	 

（５）金閣寺周辺の景観形成の方針

西山風致地区	沿道型美観形成地区 （幹線地区）	沿道型美観形成地区 （衣掛けの道地区）	山ろく型建造物修景地区
・ 金閣寺及び等持院の一带の美しい山容や 落ち着いたある和風空間 金閣寺及び等持院の一带は、松林に覆われた美しい山容を持つ衣笠山の麓に広がる市街地であり、この地区の山ろく部は、金閣寺の借景となっており、この山ろく部の改変の規制、社寺境内地や立命館大学を含め、この地区の主要な構成要素である大規模施設の外構デザインにより風致・景観の保全を図る。等持院付近の住宅地は、落ち着いた雰囲気をもっており、赤阪地区では、日本瓦ぶきの住宅で大半の和風空間が形成されている。これらの落ち着いたある和風空間の保全を図る。	沿道型美観形成地区は、歴史的市街地内にあるが、土地利用上、中高層建築物が多く、京都にふさわしい新たなデザイン建築物を誘導することにより、良好な沿道の町並み景観を形成する。 低層の建築物については、勾配屋根を基本として、地域の景観特性を踏まえ、良好な屋上景観の形成を図るものとする。また、中高層建築物については、勾配屋根又は勾配屋根に類似した目隠しルーバー等を有する良好な屋上景観とすることにより、京都らしい落ち着いたある通り景観の形成を図る。さらに、高層建築物はそれらの基準に加え、外壁上部に水平線を強調する底状のものを設けることにより、スカイラインを整える。	衣掛けの道地区は、金閣寺前から立命館大学正門前までの通り及びその沿道を含む。衣掛けの道という名称は、昭和末頃に地元主導によりつけられたものであり、金閣寺前から竜安寺を経て仁和寺に至る観光道路である。沿道の住宅地は、風致地区に指定し、景観規制を行っている。北山山ろくの風趣と垣間見える京都中心部を見下ろす、眺望を楽しめる代表的な沿道である。 このため、沿道に面した建築物は、京都らしい繊細で洗練された勾配屋根を基本とする和風意匠により通り景観の保全に配慮する。また、通りの眺めを阻害するような建築物の色彩を禁止するとともに屋上景観等の整備に努める。	北山や西山の山ろく部及び伏見・山科の山ろく部には、世界遺産をはじめとする数多くの歴史資産が集積しており、これらの歴史遺産及びその近接地は、これまで風致地区制度を活用して、自然・歴史的景観の保全を図ってきた。 山ろく型建造物修景地区は、その多くが風致地区と接しているため、自然風景との調和を図りながら、景観上は風致地区との整合性を図るため、３階以上の壁面を１，２階の壁面より十分に後退させることにより、周囲への圧迫感を低減させる。また、道路等の公共用空地に面しては、周囲の景観に配慮した塀や植栽等を設置するように誘導する。
金閣寺周辺特別修景地区	西大路・北大路通		北部
世界遺産の金閣寺周辺では、金閣寺の緑と一体となった景観を保全するため、敷地規模に留意し、建築物は日本瓦ぶき和風外観とする。	西大路・北大路通地域は、北大路通から円町までの西大路通とその沿道及び大徳寺前から西大路通までの北大路通とその沿道から構成される。西大路通及び北大路通は、昭和初期に中心市街地を囲む環状道路として計画された幹線道路である。特に、北大路通の沿道には、大徳寺や船岡山等の観光名所があり、西行すると左大文字を眺望することができる。 北大路通から連続する西大路通の北部の沿道には金閣寺や平野神社等の観光名所があり、北行すると左大文字山が正面に眺望できる。 このため、建築物は、外壁の位置を道路から後退し、夜間照明を工夫することにより賑わいのある歩行者空間の充実を図る。また、左大文字山の眺望を阻害することがないように、建築物の色彩や屋上景観等の整備に努め、良好な眺望や通りの景観の形成を図る。		北山の山ろく部には、世界遺産の鹿苑寺（金閣寺）、賀茂別雷神社（上賀茂神社）等があり、その周辺は山ろくの自然景観に調和する良好な景観を形成する地域である。また、山々の内縁部には戸建住宅を中心とした良好な住宅地が広がっており、良好な景観を形成するとともに住環境の維持増進が必要な地域である。 このため、建築物は、特に世界遺産等の周辺において、勾配屋根を設け、壁面の色彩を自然との調和を旨とする暖色系の自然素材色とするなど、和風基調の町並み景観を形成する。